

## 会 議 録

会議の名称	西東京市図書館協議会 令和元年度第2回臨時会
開催日時	令和元年11月13日（水）午後3時から5時まで
開催場所	田無公民館3階会議室
出席者	委員：島会長、鈴木副会長、高橋委員、山口委員、山辺委員、長谷川委員、上田委員、福士委員（欠席）渡邊委員、東山委員 事務局：中川館長、西村館長補佐、司城副館長、三城庶務係長
傍聴者	1名
議題	1 諸報告 2 平成30年度図書館事業評価について 3 西東京市図書館の開館時間の拡大について
会議資料の名称	資料1 平成30年度西東京市図書館事業評価 資料2 図書館基本計画・展望計画（平成21年度から30年度）中間報告以降の実施計画に基づく後期5ヵ年取組のまとめ 資料3 夜間開館館データ
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
<p><u>1 諸報告</u></p> <p>○館長 参考資料の「教育委員会の点検評価」のうち、図書館に関する部分は、3点です。絵本と子育て事業、ヤングアダルトサービス、宅配協力員による宅配サービスです。新規事業ではないですが、図書館として取り組んでいる事業3点を学識の方3人に第三者評価をしていただいたものです。</p> <p>絵本と子育て事業に関しては特に質問がありました。図書館としても課題としているところですが、3歳児健康診査の時にフォロー事業として3、4か月児とは違う年令が進んだところで、事業計画にあり、体制も敷いているが、参加率の低さが課題になっている。</p> <p>対策に関してはいくつかご意見をいただいている、この参加率が続くようであれば費用対効果の面からみてももっと広い範囲で取り組みをする必要があるということでした。</p> <p>「西東京の教育」の記事ですが、小中一貫教育がスタートします。小学校全体から中学生に上がった時に支障がないような教育という意味での小中一貫教育を来年度からスタートさせるということです。</p> <p>3点目は「中央図書館・田無公民館耐震対応」の内容についてです。今年度基本設計をしております。来年度に実施設計をして、令和3年度に休館をし</p>	

て耐震工事と施設維持改修工事を同時に実施する予定です。これは基本設計段階のプランなので、最終決定ではないのですが、現状についてご意見をいただければと思います。

地下1階は調理実習室では備品を取り替えます。防音、遮音といったものを取り入れる予定です。地下のトイレでは1か所だけ、和式トイレを入れることになりました。録音室を地下に移動する予定です。

1階は公民館事務室を奥に移動して、その代わりにロビーを拡張し、北側に学習コーナーを設置します。

2階は公民館集会室の畳替えをします。図書館側は地域行政資料室を移動して面積を増やす予定です。

3階は準備室と視聴覚室の調整室、この2部屋の間の壁が撤去対象なので取り外して一つの部屋にまとめて、活動室という形にします。

工事の関係でサーバ室の移転をします。工事期間中にサーバを今の場所に置くことは保守管理の点で難しいという判断から庁内のサーバ室に移設します。

当初は工事の後戻すつもりでいましたが、諸々の事情から、戻さない方向で調整を進めています。

ただし、庁舎に置く場合、庁舎の法定点検を行う日にサーバを止める必要があるため全館を1日休館にせざるを得なくなります。その月の第3金曜日かその週の月曜日を代替えで開館するといった対策を考えています。

この件について協議会の皆様からご意見を伺いたい。

- 会長 3点報告がありましたが、みなさんから意見はありますか。
- 委員 サーバの移転の件では現在のパッケージ室についてはサーバを移した後は図書館のスペースとして使えるのか。
- 館長 使えます。それは大きなメリットの一つになります。
- 会長 11月23日は何の法定点検なのか。
- 副館長 田無庁舎の電気設備の法定点検になります。
- 会長 サーバを地域館に置くとどうなるのか。
- 副館長 サーバ室として整備する費用が掛かります。
- 会長 休館日を設けるということに関しては工夫して選択肢を増やすことはできないのか。
- 委員 代替えを設けるのに23日を休むのがそんなに大きなことなのか。
- 会長 改修工事期間だけであれば理由としておかしくはないが、今後ずっとということになれば、工事後に戻せばよいという話ではないか。

- 委員 改修工事後の図書館サーバ室はサーバを置くには問題があるのか。不都合なところを改善して戻せばよいのではないか。
- 館長 今までに受けた指摘事項に移設することで対応したいということと、休みについては代替措置がとれると考えるならば、23日の休館もやむを得ないと考えています。
- 委員 代替の休館日を設けるのであれば、良いと考えていて、むしろ、別途利用のできるスペースができることのメリットも合わせれば移設に関しての提案には賛成できます。
- 委員 セキュリティの問題は田無庁舎であれば、問題ないのか、現状では何が問題なのか。
- 副館長 入退出管理が一番の指摘事項です。ほかにも火災等の保安上の理由からサーバ室にサーバ機器以外のものを置くことは不可とされました。
- 会長 もう一度整理すると、今年度は基本設計、来年度は実施設計、改修工事は再来年度。その時の11月23日を休館するか、それ以後も休館するか、ということですね。
- 館長 図書館にサーバを戻す場合のセキュリティのことも含めてそのあたりの費用効果をもう一度検討させていただいてもう一度お諮りするということで良いでしょうか。
- 委員 代替の日を設定することでOKかどうか、ということで説明ができないと考えるか、きちんと説明すればOKなのか、というところだと思いました。
- 副会長 図書館全体の話になると思ったときになぜ11月23日が閉館なのかびっくりする人はきっといるだろうかと思います。その代わりに開館する日があると聞いてもそれがその代わりと、認識する人はいないかと思う。図書館で決めていただくしかないと思います。
- 会長 協議会としてどうかというよりも、それぞれがどういう意見を持っているかということで確認していただければと思います。  
耐震改修についてはどうでしょうか。
- 副会長 コンクリートのブロックの壁を壊すのは耐震的には良いことなのか。
- 館長 はい。ブロックの壁は施設を支えている壁でもなく、地震の時崩れやすい。

## 2 平成30年度図書館事業評価

- 副館長 直前にお送りしている内容から変わっておりません。委員の皆様で評価が

割れている部分がありましたが、案をまとめる段階で、それぞれの個所をA、Bとまとめさせていただきました。  
一つ目が6ページ目、図書館がB、皆様がAとBに分かれてAの方のほうが若干多かったところです。

○会長 Aでよいですか。内容を確認しますか。

○副館長 ここ以外にもいくつかありますが、AにしてもBにしてもその評価の表現がAであればAに値する表現、Bであればどういう部分が良くないのでBだというのが解るようにその部分をもう少し強調したほうが良いのではないかというご意見をいただきまして、それに対応した文章にご意見をいただいたなりに手を加えています。

○館長 音訳者の養成に努めると、Aだけれどもその一文を入れることで皆さんの評価をAとさせていただきますがそれでよいでしょうか。

○副館長 11ページです。図書館の評価はBで皆様の評価はA、B同数でした。

○会長 これはいいと思います。

○委員 よいのですが、教育委員会の評価にもありましたが、3歳児のフォロー事業の参加率が11.5%だから評価はAとはできない、と図書館としても考えているということですか。

○館長 29、30とほぼ2か年やってきて参加率の引き上げがうまくいかなかったという点です。

○委員 ブックスタートはよくあると思うが、3歳児フォローはどの自治体でもよくやっていることなのですか。

○副館長 どちらかと言えば独自にやっている内容です。

○委員 であれば、チャレンジしているということで、参加率11.5%でBということは個人的にはちょっと厳しいと感じます。ただ皆さんの考え方で合わせていただいでよいです。

○副会長 頑張っているのはとてもよくわかりますが、Bだと思います。その場所ではないところで頑張ったほうが良いなと思います。

○委員 まだ改善する余地があるということですね。

○会長 確かに多摩地区で3歳児は珍しいですね。

○委員 頑張りにA。新しい事業はなかなかうまくいかないこともあるので。

- 会長 新しい事業に取り組んだことにはAだけれども11%というところはBですね。
- 副会長 そうです。申し訳ありませんけれども、2回目ということもあるので、前回もやる場所を変えたほうが届くのではないかとずっと思っている。子ども読書推進計画の中でもずっと3歳児フォローということをやりたいと言ってきて、いよいよ始まったので、やっぱりそこはすごく実っていくとよいなという思いがあります。これだけ頑張っているのはよくわかっているし、内容がとてもよいこともわかっているが、届けたい相手に届かないまま続けていくのはどうか、と思っているのでBです。
- 会長 半々に分かれていますかBでよろしいですか。ではBということにします。
- 副館長 最後は17ページA、Bでほぼ半々です。ポイントはもともと日本語を母語としない方へのアプローチは実際にはほとんどできていないという指摘。そこに対する方策をきちんとしてほしいところを最後に表現したらどうかという意見を複数いただきましたので、こういった表現にしてBのままにしました。
- 委員 最後の表現を変えたので、途中の文章と矛盾する表現になっている。日本語を母語としない方の参加が少なかった、ということを経験のところで書いたほうがよい。
- 委員 講師役に日本語を母語としない人の参加があったが、聞きに来る参加者には少なかった、ということだと思う。
- 委員 地域に住む日本語を母語としない人の参加が少ないので、より多くの人たちが参加できるような企画や広報活動をもっとやってください、という流れででしょうか。
- 会長 地域に住む日本語を母語としない方達の参加が少なく、今後はより参加者を多くするように企画や広報活動を積極的に行っていただきたい。ということで良いですか。事業評価は今後どのような流れですか。
- 館長 教育委員会に報告して承認されれば市民に公表する形になります。
- 会長 第2の平成30年度図書館事業評価についてはこれで決定です。
- 副館長 資料2につきましては基本計画・展望計画の後期5か年の取り組みと課題についてまとめたものです。こちらはすでに図書館協議会から評価を受けているものをまとめているので、この形で教育委員会に報告したいと考えています。  
以前に提示した資料に対して、30年度の事業評価をいただいたものを加味し

た形のものです。

文言の変更は成人サービスのところす。それ以外も主な課題をすべての項目に載せていますが、その課題は昨年度策定した図書館計画に記載した課題と取り組みから課題についてそれぞれの部門にまとめた形で載せてあります。

この形で問題なければ教育委員会に報告します。

○会長 毎年行っている図書館事業評価をまとめたということですね。

○副館長 はい、そうです。

### 第3 諮問西東京市図書館の開館時間の拡大について

○館長 資料3は前回西東京市の時間別曜日別貸出の折れ線グラフに対して、調布市は西東京市と同じもの、ほかの自治体はクロスさせたものがないため、それに近いものを入手しまして、まとめました。それぞれ傾向がつかめる程度ですが、ご確認ください。

○会長 調布市と西東京市を比べるのがよいですか。

○館長 次回以降のために何か必要なものがあれば資料を用意します。

○会長 具体的に議会や教育委員会、社会教育委員の会などで要望は出ているのですか。

○館長 利用者アンケートの自由記入欄に朝9時からという要望は一定数記載されます。地域館の祝日開館、週末の夜間開館については図書館の提案です。

○副会長 前回の会議で出席の地域館長から祝日明けの処理は大変という話がありましたが、同時に祝日を開館すれば職員は交代勤務になることもおっしゃっていたので、超過勤務だけでなく、職員体制は考えなくてはいけないことで、話を進めると、指定管理なり、委託といった話になり兼ねないと危惧があります。

○館長 サービスの拡大になりますので、人員については手当てをすることを考えています。

○委員 協議会としてはサービスが拡大するところについては人事も含めて答申に盛り込むことができるようにしたらよいのではないかと。

○会長 あとだいたい2回の会議で基準になるようなサービスの内容を出していくようにしましょう。

次回、第3回定例会 1月15日(水) 午後3時から